

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	専修学校留学生総合支援プラン		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	生涯学習推進課専修学校教育振興室		生涯学習推進課長 平林 正吉		
会計区分	一般会計		施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育基本法第2条第2項		関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) 新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	専修学校の留学生に対する就職支援・生活支援等を進め、留学生の受入れを一層促進するため、地域における支援体制の構築や、日本での就職に必要な知識・技術の向上等を目的とした学習機会の提供、企業等と連携した支援の取組などを総合的に推進し、日本企業への就職と地域への定着を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各都道府県専修学校関係団体が主な主体となり、複数の専修学校や自治体、地元経済団体等の参画による実施委員会を設置し、留学生の生活・就職を支援するための相談窓口の設置、就職活動機会の提供などの取組を総合的に実施する。 また、主に専修学校が主体となり、地元企業等との連携により、留学生が日本で就職するために必要となる基本的な能力を習得させる講座の開催や企業実習の実施など、実用的・実践的な学習機会を提供するとともに、アドバイザーを設置し、留学生の生活支援を行う。 平成23年度においては、震災及び原発事故の影響を受け、専修学校等の入学辞退・退学が全国的に起きていることを踏まえ、被災地をはじめ我が国が強みを持つ産業分野において活躍する外国人留学生の受け入れを促進する。具体的には、国内外を通じた留学生に対する情報発信の強化とともに、専修学校のグローバル化に対応した職業教育を充実するための人材育成メニューの開発・提供を促進する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	133	133	99	88	-	
		補正予算	0	0	0	0	-	
		繰越し等	0	0	0	0	-	
		計	133	133	99	88	-	
	執行額	96	107	95	-			
執行率(%)	72.2%	80.5%	96.8%	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	専修学校に入学した留学生数		成果実績	人	13,763	15,252	13,790	前年度 実績増
			達成度	%	-	-	-	-
	就職説明会参加企業数		成果実績	社	126	254	345	前年度 実績増
			達成度	%	-	-	-	-
	就職説明会参加人数(留学生、企業含む)		成果実績	人	4,292	5,773	5,962	前年度 実績増
達成度			%	-	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	委託契約事業の採択件数		活動実績 (当初見込み)	件	10	7 (13)	4 (6)	- (6)
単位当たり コスト	(23,760千円/1事業)		算出根拠	単位当たりコスト＝ 平成23年度委託額(95,040千円)/平成23年度委託契約事業数(4件)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2百万円	-	※平成24年度限りの経費				
	職員旅費	0.2百万円	-					
	委員等旅費	0.2百万円	-					
	庁費	1.0百万円	-					
	生涯学習振興事業委託費	86.1百万円	-					
計	87.7百万円	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は新成長戦略の「アジア経済戦略」の一環として、2020年までに質の高い外国人学生の受入れを30万人にすることを目指し、専門学校への留学支援を行うものであり、地方や民間が個別に行うものではなく、国が総合的に推進していく必要がある。また、円滑な事業の実施により適正な予算の執行が行われている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定は、企画競争により行っており、選定の妥当性や競争性を確保している。また、委託要綱等に経費の効率的執行や委託金の使途を明らかにすること、収支簿を備えること等を定めており、単位あたりコストの削減、受益者との負担関係、中間段階での支出及び費目・使途は妥当であると判断する。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は留学生の就職・生活支援の取組を総合的に推進するために、支援情報の提供や相談窓口の設置、就職説明会の開催、支援ガイドブックの作成等を行っている。平成23年度は、東日本大震災の風評等を受け専修学校に入学する留学生は減少したが、就職説明会への参加人数・参加企業数はともに増加するなど実効性は非常に高い。また、被災地域である宮城県においても留学生・企業向けセミナーを開催するなど被災地支援の観点からも効果が高い事業である。成果物である留学生向けの就職ガイドや教員研修教材等はホームページに掲載されるとともに各都道府県に配布されるなど十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は専修学校の留学生に対する就職支援・生活支援等を進め、留学生の受入れを一層促進するため、地域における支援体制の構築や、日本での就職に必要となる知識・技術の向上等を目的とした学習機会の提供、企業等と連携した支援の取組などを総合的に推進し、日本企業への就職と地域への定着を図るものであり、説明会への参加企業学生数の増など着実に推進が図られている。</p> <p>また、昨年度の実績を踏まえ、不用率の改善がなされた。今後とも、本事業の成果等の検証を行いつつ、政策推進上の諸課題への対応の優先度等を考慮しながら適切な予算設計を図り、さらなる施策の推進等に努める必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、専修学校の留学生に対する就職支援等を進めながら、留学生の受入れを一層促進するための地域における支援体制の構築等を目的とした事業であり、事業成果等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、専修学校の留学生に対する日本企業への就職支援を企業等と連携のうえ総合的に推進しているものであり、就職説明会への参加企業学生数が増加するなど、着実に事業成果が得られているものと認められるが、より効果的・効率的な事業展開を目指し、事業内容を再点検、再構築すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	所見のとおり、当該事業の当初の目的は着実に達成されてきていることから、24年度限りで廃止することとする。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>「教育振興基本計画」 http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/index.htm</p> <p>「新成長戦略」 http://www.kantei.go.jp/jp/sinseichousenryaku/sinseichou01.pdf</p> <p>「留学生総合支援プラン成果報告一覧」(大阪府専修学校各種学校連合会) http://www.kansai-ryugaku.net/事業成果報告一覧/</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0015	平成23年行政事業レビュー	0048

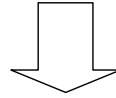
※平成23年度実績を記入

文部科学省
<195百万円>

本省執行分
諸謝金 0.1百万円
職員旅費 0.2百万円
委員等旅費 0.1百万円

を含む。

〔対象法人から提案のあった事業内容を審査の上、委託する取組を選定し、委託契約を締結する。〕



【公募・委託】

A. 専修学校留学生総合支援プラン
社団法人(全4法人)
<95百万円>

〔専修学校の留学生に対する就職支援や生活支援のための学習機会の提供、相談窓口やアドバイザーの設置、就職説明会などを実施する。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計は一致しない。

A.(社)東京都専修学校各種学校協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	HP制作・運営管理、就職説明会・セミナー・報告書印刷、説明会設営費等	25			
借損料	委員会・講座・セミナー・就職説明会会場借料	9			
一般管理費	人件費・事業費の10%	4			
諸謝金	委員会出席謝金、講座・セミナー講師謝金等	4			
人件費	事業運営補助者	1			
消耗品費	案内発送用封筒、就職説明会用具類等	1			
その他	旅費、通信運搬費、会議費等	1			
計		45	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.専修学校留学生総合支援プラン

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 東京都専修学校 各種学校協会	地域の人材ニーズに対応した外国人留学生の就職支援プログラムの実施と支援ネットワークの構築	45	企画競争	—
2	社団法人 大阪府専修学校 各種学校連合会	関西型留学生就職支援基盤の構築 3	36	企画競争	—
3	社団法人 福岡県専修学校 各種学校協会	留学生の日本企業への就職支援プログラムの開発と活用	9	企画競争	—
4	社団法人 兵庫県専修学校 各種学校連合会	～兵庫北から南から留学生が安心して学び、就労するための環境整備を目指して～ひょうご留学生支援プラン	6	企画競争	—